

殿山第二小だより

令和 3年12月16日 第26号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044



よく学び
よく遊び
その5

実行委員会の想いをまず見える化し、モチベーションを高めていこうと、校区コミュニティ・自治会の皆様のご支援を得て、一枚目の横断幕が完成しました。

来年1月には、美装工事を施した正面玄関に掲げる予定です。(美装工事は、年末12月24日午後～28日に行う予定です。)

殿山第二小だより第19号でお知らせしていますが、本校は、来年、創立150周年を迎えます。

6月より、「創立150周年記念事業実行委員会」を立ち上げ、顧問に上山 芳次様、実行委員長に清水 耕一様、副委員長に松本 英史様、鈴木 歩様を拝し、これまで、書面開催を含め4回の実行委員会を行ってきました。

その話し合いの中では、殿山第二小学校で学ぶ子どもたちが、150周年という本校の歴史・伝統に誇りを持ち、今まで支えてくださった人々に感謝の想いを持って、これからも明るい未来を築いていこうとする「心」を育んでいきたいということで実行委員会出席の地域の人々、歴代PTA会長を務めていただいた方々と気持ちを一つにしてきました。



12月4日(土)13:30から図書室で開催された実行委員会で、お披露目された様子です。



さて、左記の写真は、現在、校長室に飾っている「須恵器」です。実は、との二会館2階にある歴史資料室の中に眠っていたものでした。旧『枚方市史』によると、本校の運動場とプールとの間にはさまれた低い築山のある地点に円墳の古墳「比丘尼塚」があり、そこから、須恵器が採集されたということです。現在、枚方市役所文化財課に同じような紋様が施されている「須恵器」が数十点保存されています。

先日、枚方市役所文化財課から3名の方に来校していただき、校長室の「須恵器」や円墳があったと思われる場所をみていただきました。

たぶん市が保存されている「須恵器」と同種、同年代のものではないだろうかとお話しを伺い、今からおよそ1,400年前ぐらい(聖徳太子が活躍された時代)に作られたものと思うと須恵器を持つ手が思わず震えてしまいました。

改めて、殿山第二小学校の“地”が古より、人々の生き様が繰り返し繰り返し続いてきているのだと、感慨深いおもいです。

広辞苑より

「須恵器」… 古墳時代中・後期から奈良・平安時代に作られた、朝鮮半島系技術による素焼きの土器。



12月13日(月)委員会活動の時間に、5・6年生児童会委員の子どもたちが、各クラスで話し合われた「150周年に向けての想いや言葉」を集約し、次のように自分たちのスローガンを考えてくれました。

殿ニッコリ
～ 世界一幸せで仲間を大切にする学校 ～

♪殿ニッコリ♪ さあ、みんなで殿ニッコリの学校をつくっていきましょう!